

事業名:	社会的孤立を防ぐ居場所拡張事業 ピッケノハコ拡大 大作戦!!
資金分配団体:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	特定非営利活動法人 CAN
実施時期:	2021年 6月～2022年 2月
事業対象地域:	札幌市周辺
事業対象者:	・児童養護施設や里親家庭などの社会的養護を離れて暮らす子ども・若者 ・社会生活に困難を抱えている子ども・若者

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0
2021年12月5日

[こちらの記載例](#)を参考に作成ください。

また、事業終了時の評価に関する[完了報告書のフォーマット\(暫定\)](#)はこちらです。

I. 事業概要

事業概要
<p>社会的養護の出身者や社会生活に困難を抱えている若い人が、安心して気軽に立ち寄り、スタッフに相談したり一休みしたりできる居場所を継続して開設し利用してもらうことで、社会的孤立を防ぐ。困窮に応じて、食材や日用品の配布、食事の提供を随時行う。また対面だけでなく電話や SNS の利用、こちらから出向くなど多様な相談手段を提供することで、直接相談に来られない方も状態が深刻化する前に支援に繋がれるようにする。そしてたとえ深刻な事態になっても困りごとを共有し寄り添えるような関係性を構築することで、必要に応じて他の支援機関とも繋がることできるようにサポートする。</p>

II. 進捗報告の概要

総括
<p>CAN は、活動開始当初から、日常生活に寄り添う支援を標榜してきた。拠点を持たずに電話一本でどこへでも出向くフットワークの軽さは、簡単につながりまた簡単に切れてしまう関係の一因ともなり、その反省から自立援助ホームという居住拠点を設けたわけだが、居住拠点を持ちながらアウトリーチを行うには法人としての体力が不足していた。</p> <p>現在は相談拠点としての居場所を開放しつつ、伴走型支援を少しずつ広げることができている。これには、まず居場所を安定的に運営できていることが大きい。</p> <p>居場所を端緒として支援を必要とする方たちとゆるやかにつながり、必要に応じてその方たちをもっと専門的な支援につなげていくという形は整いつつあり、また、わたしたちが伴走支援を行うことで、住居が確定し、就労や生活保護などで生計を確保したあとの生活の維持に、持続的な支援が不可欠であることが、多くの支援団体にも浸透しつつあると感じている。</p> <p>また、コロナにより多くの特に公的支援機関が窓口を閉じざるを得なかった期間、居場所、行き場所を失った方たちが日中の居場所を求めてピッケノハコにつながってきてくださり、公的機関が再開したあともつながり続けている。こうした新規の利用は、「居場所」に求められる要件について、熟考する機会となった。</p> <p>今後は、自分に支援が必要である、支援を求めている状態であるという自認のないままに、地域で孤立している方々へのアプローチをも視野に入れつつ、ハコのような拠点の必要性について行政に訴えていくために、ここを必要と考える支援者の方々と連携を強めていく必要がある。</p>

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>社会生活に困難を抱えている若い人とより多く繋がりを持ち【事業計画（1）】、生活の中のちょっとした困りごとにも相談できるようなゆるやかな関係性を継続していくことで【事業計画（3）】、ここにすれば安心であるという居場所として認知され【事業計画（2）】、多くの人に利用してもらおう。またアフターケアを担う事業所として、札幌市からの助成を受けられるようになるための実績をのこし、それと同時に、この事業の必要性について、行政に理解を求めて行く。</p>	<p>【概要】 今年度当初の利用実績は、居場所への来訪がのべ 150 名、実数にして 17 名、line 登録者が 35 名であったが、8 月にハコを拡大した成果もあり、10 月末現在来訪者はのべ 483 名、実数で 47 名となり、line の登録者も 75 名に増えている。 居場所としての認知度が高まった証左として、これまで関係のなかった区の家庭児童相談室や放課後児童デイサービスとの連携が生じている。 また、里親会・里親ファミリーホームから、アフターケアに必要な伴走支援を行う事業所として協力を要請されている。</p> <p>【目標達成状況】（10月まで）</p> <p>(1) 公式 LINE の登録者数【目標 40】:26 誕生日カード、年賀状等送付件数【目標 20】:12 夜回り回数【目標 8】:3</p> <p>(2) 居場所来訪者数【目標 350 人】:333 人 カード、パンフレット配布機会件数【目標 9 回】:9</p> <p>(3) LINE、居場所、電話等での相談件数【目標 700】:761 スタッフ研修回数【目標 5 回】:6</p>

活動	進捗状況	概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋を借りて、整備する（家具・家電をそろえる） ・ 居場所を運営する（関係性構築、土日の開所、SNS 発信、） ・ 随時イベントを行う（食料配布、クリスマス会等、） ・ 学習支援の場として提供する ・ つながるための活動（LINE 相談、誕生日カード送付、プレゼント、関係性構築・相談） ・ アウトリーチとして、夜回りを行う。 	<p>イベントの開催以外は計画通り進行している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所「ピッケノハコ」の近隣に新たな物件を契約し、カーテンやいす、テーブルなど、基本的な備品を整備した。 ・ 他機関からの紹介や SNS でつながった利用者の方々に、日々居場所を利用していただいている。 ・ イベント開催は情勢上困難であったが、ハロウィンには居場所利用者にお菓子の詰め合わせをお渡しした。 ・ 学童や大学生の利用者に、課題に取り組む場として利用していただいている。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

事業開始後数カ月は、それまでも行き来のあった関係団体とのやり取りが多かったが、この2か月ほどは、地域で孤立しがちな方、若者に限らず、ひとり親家庭やヤングケアラーなどの支援を細々と行っている小さな支援団体からご相談を受ける機会が増えてきている。いずれも、既存の制度に乗らないが、何らかの支援を必要とされる方々を支える活動をする中で、財政基盤がなく、活動の維持継続に頭を悩ませている方々である。

制度の狭間にある方々の主体性を大切にしながら、少しでも生きづらさを克服していくお手伝いを息長くできるような仕組みを構築していくための、ソーシャルアクションを起こす機が熟しつつあるように思える。

V. インプット

		2021年度		執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥5,116,580	¥5,116,580	¥2,218,011	43%
	管理的経費	¥443,515	¥443,515	¥195,145	44%
合計		¥5,560,095	¥5,560,095	¥2,413,156	43%

補足説明

食材費、研修参加費の執行率が低い。

- ・この期間は、偶然にいただく寄付の食材等を活用して食事提供することが多かったため。
- ・偶然、参加料のかからない研修に参加することが多かったため。

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

居場所を空間として拡大したことにより利用者が増えたこと自体は喜ばしいが、拡大によって多様化するニーズを想定しきれなかった。

例えば、出張相談などのアウトリーチ、ハコに来る元気のない方のためにご自宅を訪問して生活支援を行うほか、同行支援の頻度も高くなった。これは、総括にも書いた通り、望ましい変化ではあるものの、自分たちの事業の範囲を定め切れていないために、スタッフに過重な負担がかかっている現状もある。

今後の課題として、伴走支援の必要性をさらに社会化し、ニーズへの対応を他団体とも分け合っていく必要があると思われる。

Ⅶ. その他

自由記述

昨年、本格的な居場所事業に着手しようとした矢先にコロナ禍が起こり、事業は手探りのスタートとなりました。また、北海道は単独の島からなる単県のためか、他地域の情報が届きにくく、動きが見えづらいつ感じます。

そうしたなかで、今回の助成事業に取り組んだことで、交流会等を通じ、全国で同じような理念を持ち、活動している団体とオンラインではあるけれども接することができるのは、大きな励ましになっています。

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	・NHK ・北海道新聞：居場所事業の紹介
広報制作物等	有	・2つ折りカード、3つ折りリーフレット ・自立援助ホーム運営期からこれまでの活動をふりかえる小冊子「若者たちと歩んで」を製作し、関係団体等に送付した ・ホームページ開設の準備を8月より始めた ・会員向けニュースレターを発行した（7月）
報告書等	無	

Ⅸ. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	開催されている	6月の社員総会においては、昨年度の事業報告・会計報告を行い、また、今年度の事業計画・予算を審議し、承認された。 理事会はほぼ毎月1回のペースで開催し、各事業の進捗報告を行うと共に、今後の財政基盤確保のための検討を行っている。
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	整備されていないが、検討している